別紙

「大阪安威川（あいがわ）の治水を考える流域連絡会」の茨木市上中条 2 丁目 5-25-301 阿字地洋子と云います。

この間、「安威川ダム工事が大きく進捗」という情報を聞きましたので、その状況を知るために安威川ダム工事現場を去る 7 月 11 日に緊急現地調査を行いました。

第一に今回の安威川ダム建設事業の事業評価について申し上げます。

安威川流域における事業の目的と事業の概要ですが、現安威川河川整備計画では、100 年確率の洪水を調節するダムを建設することにより、目標達成をめざすとしていますが、①近年の国内の異常降雨や今次の九州豪雨など、こうした異常気象が日本列島全体に拡大しうる可能性が高いこと、②また、国でも内閣府や国交省を中心に治水の方策について、「流域治水」への転換が議論されていること、③また今般の安威川ダム計画地周辺の地質の脆弱性が指摘される中では、安威川流域の治水についても同様の方向で見直す必要があると考えます。こうした世界的な気候変動、日本の異常降雨常態化や国の治水対策の転換の動き、安威川ダム工事地周辺の地質の脆弱性等を総合的に勘案するなら、安威川流域の治水もダムに頼った治水から「流域治水」の方向へ転換すべきと考えます。

第二に、今回のダム建設費用の変更について申し上げます。

変更の理由の第一は自然災害により必要となったとして、①非常用洪水吐きの法面対策の増で２２億円、②ダム貯水池周辺における斜面保全対策の増で４３億円、総計６５億円。第二は現場条件により対応が必要となったとして、①コア材の採取量不足、及び転石処理の増で３５億円、②盛り立て材料にかかる土量変化率の見直しの増で５億円、総計４０億円としていますが、（2020 年 6 月 13 日　①非常用洪水吐き法面崩壊の原因と対策工事の調査報告書　②ダム湖周辺の崩落箇所の原因と対策工事の調査報告書）その具体的内容に付いて情報公開請求しましたが、「公開期限延長処分」により未だ公開されていません。説明責任をきちんと果たすべきと考えます。

第三に、建設に要する費用の増額に関連する現在執行中の工事内容の進捗状況について申し上げます。大阪府は 2020 年 2 月 7 日公示と 2020 年 7 月 8 日公示の「安威川ダム河川護岸防災工事」（令和１年度、令和２年度）を発注していますが、私達の情報公開請求に応じて、早期に工事の概要と進捗状況についても、説明をするようもとめます。

以　　上